

~News letter~

かもみーる通信

48号 2014年6月



トピックス

- * カモミールこども大学
- * なでしこ教養セミナー
- * ランチタイム
カモミール・カフェ
- * カモミール月曆
- * 保育園たより

カモミールこども大学 参加者募集

男女共同参画推進室は、子育て中の教職員に対して、子どもの夏休み期間の子育てを支援すること、また、岐阜大学での体験学習を通して、子どもたちが親の職場に親近感を抱くことを趣旨として、「カモミールこども大学」を開催します。

多くの教職員が趣旨に賛同してくださり、バラエティ豊かなプログラムが用意できました。



日時：平成26年8月21日（木）・22日（金）の2日間
8：30～17：30（受付 8：15～）

場所：カモミール・カフェ、大学会館 第6集会室 他

対象：本学に勤務する教職員の子ども（小学生）

参加費：2,000円（材料費、昼食・おやつ代、傷害保険料等）

定員：20名（申込多数の場合は抽選）

申込期間：7月7日（月）～11日（金） 各日9:00～17:00

申込方法：参加申込書をカモミール・カフェへ持参

プログラム

8月21日（木）

- ★方言かるた
（教育学部 山田敏弘シニア教授）
- ★金型創成技術研究センター見学
（金型創成技術研究センター）
- ★美術に親しむ
（教育学部 辻 泰秀教授）

8月22日（金）

- ◆農場見学、ピザ作り
（岐阜フィールド科学教育研究センター）
- ◆天気の秘密と太陽光発電
（工学部 小林智尚教授）
- ◆ダンス・体操
（教育学部 熊谷佳代准教授）



男女共同参画推進室・岐阜フィールド科学教育研究センター共同企画
こども大学参加申込受付期間中

日時：7月7日（月）～11日（金）
11：30 ～ 13：30

農産物販売

場所：カモミール・カフェ



ネットワーク大学コンソーシアム岐阜(GUC)

女性の活躍 なでしこ教養セミナー 2014

—岐阜大学女性教員リレー講義—

6月14日(土) 16:00~17:30 に岐阜大学サテライトキャンパスにて
「なでしこ教養セミナー」第3回を開催しました。

「若い男女(大学生)のための身体の基礎知識」

保健管理センター長 山本真由美教授

高等教育機関への進学率が55%を超えた今日、この年代(大学生)の対象者に適切な健康教育を行うことは次の点で重要です。

- ① 社会に出る前に、全員を対象に講義を提供できる貴重な機会であること
- ② 学生時代の健康を守るだけでなく、自己健康管理能力を身につけて卒業することで、生涯の健康度を高めることに寄与する。
- ③ 生涯の健康度が高まれば、卒業生の社会での活躍や貢献の充実につながり、国民総医療費削減につながる。
- ④ 健康診断のしくみの充実や、完成度の高い国民健康保険制度を学ぶことで、日本の医療レベルや保健行政が世界的にいかにも高い地位にあるかを知ることとなる。このことは、学生のアイデンティティ確立に寄与し、自国の誇りと国際社会への貢献意欲を高めることにつながる。

以上のような役割を自覚して、保健管理センターでは様々な健康増進教育を行っているが、今回は身体的な内容を中心に紹介しました。特に女性のからだや生殖のしくみ、妊娠出産に適した年齢を知った上で、人生のライフプラン、キャリア形成を考える必要性についての健康教育の実際について紹介しました。これは、最近の少子化問題や、リプロダクティブヘルスの考え方を反映した比較的新しい視点からの若年成人を対象とした健康教育です。

当日は、実際の教育用パンフレットや、スライド教材を用いて、このような教育の実際を紹介し、さらにその重要性和必要性を説明しました。



★ 8月の「なでしこ教養セミナー」は、岐阜大学サテライトキャンパスにて下記のとおり開催します。

開講日	時間	内容	講師
8月2日(土)	14:00-15:30	介護を必要としないための高齢者の健康づくり	辛 紹熙 (医学系研究科助教)
8月9日(土)	10:30-12:00	アーミッシュのライフスタイルから現代社会を考える	大藪千穂(教育学部教授)
8月30日(土)	14:00-15:30	遺伝子組換え作物を考える	山根京子 (応用生物科学部助教)

ランチタイム カモミール・カフェの開催

6月11日(水)、カモミール・カフェにて今年度から新たに「女子大学院生による出前講義」の講師に登録した院生の皆さんを対象に、ランチタイム カモミール・カフェを開催しました。

今回は教職大学院の後藤信義特任教授に「中・高校生への出前講義のポイント」についてお話しいただきました。

講話では、中・高校生に向けた講義内容の教材として、Useful(実生活に役立つ、機能する)、Interesting(おもしろい、興味がわく)、Relevant(自分と関係がある、生徒と関係がある)が大切であることをうかがいました。

その他にも、講義方法や講義スタンス、個性ある講義についてもお話ししていただき、今年度から出前講義を行う学生にとっては、大いに自身の講義の進め方の参考になったようです。



参加者たちは後藤信義特任教授の講話を真剣に聞き入っていました。

カモミール月曆 (室長からのメッセージ)



全学共通教育科目で、「男女共同参画推進の取り組み」について紹介



前学期月曜日1限の全学共通教育科目として、「岐阜大学の教育研究と運営」が開講されています。教学・附属学校担当理事の江馬 諭 先生がコーディネーターであるこの科目の「ねらい」は、「岐阜大学の5学部及び主要な教育研究センター等の設置目的とその内容、教育や研究における特色やトピックスなどを紹介し、本学における教育と研究像を提示」(シラバス参照)することで、5学部長、理事・副学長、教育推進・学生支援機構と研究推進・社会連携機構の各部門長が、リレーで講義を担当しています。

6月9日(月)には、多様性人材活力推進担当の私が、「男女共同参画推進の取り組み」を紹介しました。「I. 男女共同参画社会基本法」「II. 日本の現状」「III. 国の施策」「IV. 岐阜大学の現状と取り組み」「V. 学生参加の男女共同参画推進」の構成で、「男女共同参画社会基本法」(1999年6月23日公布・施行)における「男女共同参画社会」の定義の解説から始め、研究者に占める女性割合の国際比較、女性の年齢階級別労働力率【M字カーブ】などの日本の実情、課題克服のための国の予算措置、現在の男女共同参画推進室・人材開発部職員育成課の取り組みの基盤となっている、文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者支援モデル育成」事業の具体的内容についてお話ししました。最後に、地域科学部「社会活動演習」(近藤真庸先生担当)や「カモミールこども大学」での学生の皆さんの活躍などを紹介することで、「男女共同参画推進の取り組み」への関心を喚起することに努めました。

受講生からは、「大学で男女が平等に研究を続けていくために、男女共同参画は重要」、「就職したときに、今までは感じてこなかった女性の不遇に気づくかもしれない」、「私は工学部生だが、学生にも教授にも女性が少ないと感じることは多くある。さまざまな考え、発想が必要な工学の分野では、女性の考えも重要になってくる」、「現状では、まだまだ女性の地位が確立されていないため、政策で女性を支援し、女性優遇とも思われる措置が必要」、「社会全体が女性の能力活用の必要性について認識し、男女が共に社会に参画していく基盤づくり、意識改革が進んでいくとよい」、「男女共同参画は男性女性双方の要望に応えるために必要だと、今回の講義を通して考えることができた」等々の感想が寄せられました。これまであまり馴染みのなかった「男女共同参画推進」の意義について、自分自身の人生設計と関連させながら考える契機としていただけたようです。



「多様性人材活用推進会議」ワーキング・グループ始動



皆さん、岐阜大学で開催されている「多様性人材活用推進会議」という会議をご存知ですか? 学長を議長とし、理事・副学長・部局長・大学本部の各部長・医学部附属病院事務部長のメンバーで組織されているこの会議は、「多様な人材活用推進のための基本方針及び実施方針を審議するとともに、多様な人材活用推進に関する必要な連絡及び調整を行うことを目的」(「多様性人材活用推進会議要項」2011年1月27日学長裁定)としています。「多様性人材(人財)」とは、性差・年齢・国籍・職掌の違いなど、異なる属性の構成員を想定して、それぞれの違いを超えて(違いを尊重し合って)、ひとりひとりが能力を遺憾なく発揮できる大学づくりをめざして歩むための会議と言えるでしょう。



6月12日(木)、多様性人材活用推進会議第5回が開催され、岐阜大学の各部局における女性教員比率、外国人教員の在籍状況について確認されました。岐阜大学では、女性教員比率を2015年までに17%以上に引き上げることが達成目標とされています(昨年度末現在15.2%)。また、外国人教員は現在わずか18名、2.3%の比率です。多様性人材活力を発揮するためには、しっかりとした現状認識にもとづく、課題克服のための積極的な取り組みが必要となっています。

今回の会議では、多様性人材活力推進のための基本方針・基本計画、現状分析、方策の企画・立案・啓発活動に関わる事項を検討するワーキング・グループを設置することも決定されました。第二期中期計画での実践の仕上げとして、また第三期中期目標の方向性の見極めを趣旨として、ワーキング・グループがよいよ始動します。

異なる属性や価値観、経験・背景を有する多様な人材が、組織運営に平等に参加し、能力を遺憾なく発揮してゆく—そのような大学の実現に向けて、ひとりひとりの構成員が、ともに学び、究め、成長してゆけますよう、心より願っています。

保育園たより

辻泰秀教授(教育学部 美術教育)&学生さんと園児たちとの交流

5月23日 辻泰秀教授と美術教育専攻1年生の学生さんたちが制作した巨大なバルーンで遊びました♪

バルーンの中はとっても広いから、お友達みんな一緒にいれちゃったんだよ～！スゴイ！！

色んなカラーのごみ袋を貼りあわせて作ったそうです。

辻先生の「下に入るうか」の声でみんなでバルーンを持ち上げると、こんなに大きなバルーンがふわ～っと浮き上がりました。



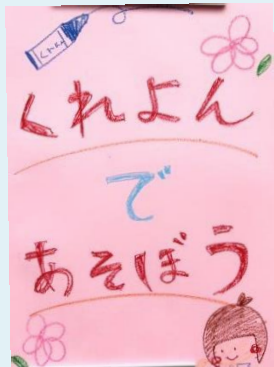
ここが出入口☆
ダンボールで作った出入口からファンで空気を送って、バルーンをふくらませました。

とっても楽しかったよ♪
お兄さんお姉さん、どうもありがとう！



6月12日 辻泰秀教授と家政教育専攻3年生の学生さんたちとクレヨンでお絵かきしました♪

お姉さんがクレヨンの使い方を優しく教えてくれました。



重ね塗りをしたクレヨンの上の色を削ると、下の色が出てきました！



見て～!!
描けたよ～♪



上手に描けました♪



黒い画用紙には明るい色を使うとキレイなんだね♪



みんなクレヨン遊びに夢中です。

岐阜大学男女共同参画推進室 (人材開発部職員育成課男女共同参画係) URL : <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel : 058-293-3378 Fax : 058-293-3396 E-mail : sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。